

『美少年』 作・中屋敷法仁

【登場人物】

ナガシマ・ケイゾウ	俳優。	さまざまな役を演じる。
オオムラ・ワタル	俳優。	さまざまな役を演じる。
カトウ・ヒロタカ	俳優。	さまざまな役を演じる。
タナカ・ホサキ	俳優。	さまざまな役を演じる。

【〇〇】そもそも

舞台上にカトウ・ヒロタカ（K）が現れる。

K そもそも始まりは2018年2月。本多劇場での本公演『俺を縛れ!』の上演を終えた劇団「柿喰う客」は新メンバーオーディションを開催。その時にすでに代表、ナカヤシキの頭の中には新作『美少年』の構想が完成しており、主人公すなわち美少年をそのオーディションで見つけるはずだった。しかしオーディション当日、私カトウ・ヒロタカは急遽上京してきた妹との食事会の為、欠席。若手筆頭、注目株のタナカ・ホサキがいちアシスタントとしてオーディションに参加していた。

タナカ・ホサキ（T）が現れる。

K どうだったオーディション？
T たくさん来ました。
K ありがとうございます。
T ありがとうございます。
K で、見つかった？美少年。
T 美少年？
K 美少年。だって新作、美少年だから。
T 美少年は、いませんでした。
K 美少年は、いなかったのか。
T そのかわり
K そのかわり？
T 美少年じゃなくて、「ブ少年」はいました。
K 「ブ少年」？

ナガシマ・ケイゾウ（N）が現れる。

N ということがあり、美少年の獲得に失敗した我々は、『美少年』の演目変更を余儀なくされたのですが、すでに『美少年』というタイトルが印刷された仮チラシがあまねく天下に出回っていることに私、ナガシマ・ケイゾウはいち早く気づき、

オオムラ・ワタル（O）が現れる。

N この野郎。なにやってんだよオオムラ・ワタル。美少年もいねえのに、できるわけねーだろ美少年。ってか待って待って出演者、ナガシマ、オオムラ、カトウにタナカ。この4人でやるって告知しちゃってる。どうするんだよ、美少年。俺は無理。

O 美少年、俺も無理。

K 美少年、俺も無理。

T 美少年、がんばればなんとか。

N ふざける。お前のどこが美少年なんだよ。

T たしかに美少年ではありませんが、

K 私の息子は美少年。

O 母親の股より生まれ出た

T その面影は天使のごとし

N その美しさにおそれおののく

K 私はさながナザレのヨセフ、

O マリアから生まれたキリストを見て

T これはたしかに神の子と、

N 過ぎたる愛情、狂気に似たり。

K その美しさに戸惑いながら、育てあげること早6年。

俳優たちは声を揃えて、叫ぶ。

全員 そう。美少年の獲得に失敗した我々は、すでに美少年を演じることを完全に放棄し、美少年の父親とその担任教師演じながら、この物語を遠巻きに遠回りに演じながら、予定されている上演時間60分が過ぎ去ることをただ、ただ、ただただ、待ち続けるのだった。

ここまで上演時間は2分。終演まで残り58分。

【O1】美少年の棲家

K II 「父親」、O II 「担任教師」を演じる。

K お待ちしておりました、先生。

O お待たせしておりません、先生。予定時刻を大幅に前倒しての家庭訪問。我が教師生命をかけまして、お父さん。あなたに一言、もの申す。

K 一言もの申される前に、どうぞおあがりください。

○ 指図するなよ、低所得。いいですか、お父さん。私、運動会の際にもお伝えしましたよね。おたくの子供、ひばりちゃんは特別なんです。他のごどもとは違うんです。あの子の可愛さ、美しさ、学校の宝、地域の喜び、日本の国宝、レガシー。

醜悪極まりない、担任教師の眼差し。

○ 奥様は一体今どこに？
K 妻はパートに行ってます。
○ 行かせるな、パートなんか。あんなババアでも実の母。いないよりマシでしょう。

K はい。

○ お父さん、仕事はどうしました？

K 私は求職中なんです。

○ 働け、中高年。社会の非情の荒波にもまれ、父親としての威厳を示せ。

K はい。

○ それよりなにより、ひばりちゃんは今どこに？

K 公園にでも行ってるんじゃないですかね？

○ ふざけた野郎だ。ブチ殺すぞ。あんな子が一人で町歩きや、凶悪犯罪に巻き込まれるに決まってるだろ。探しに行かなきゃ、今すぐに。お父さん。この町の人間は皆、あの子のおかげで気が狂ってるんだ。

K 特に狂ってるのは、あんただだ先生。テシガワラ・テルオ。新任教師の一年目、ひばりの担任になってから、あの子の一番の狂信者。

【02】テシガワラ先生の教室

○ 新入生の皆。私が担任・テシガワラ。平等公平みんなのことを差別しない。さ、出席をとります。アゲ・ヒバリくん。

アゲ・ヒバリを見たであろう担任教師、発狂する。

○ はい、先生、前言撤回。今からアゲ・ヒバリちゃん以外のことなんかどーでもいい。不平等の権化、不公平の化身、それが私テシガワラ。おかしくないよ、自然な流れ。だって見てみる。可愛いもん。ヒバリちゃん以外どーでもいい。

【03】三年後、小学三年生の二学期。

T II 「同級生ハナブサ」、N II 「同級生ユキミ」。

T ヒバリってなんだよ。この学校。どうなってんだよ。
N 見ない顔ね。

T あ、今日から転校して来たんだ。

N 転校生？小学校三年の二学期に転校してくるなんて、あんたの親、ロクな仕事してないわね。私はフジタニ・ユキミ。この学校のマドンナ。女盛り、食べごろ、8歳。よろしく。あんたの名前は、ハナブサ・イクオ？聞いたって何の意味も無い。どうせ来月には親の虐待で、ゴートウー児童相談所。何か聞きたいことがあるのかしら？なるほど、担任もうすところの「アゲヒバリとは誰ぞや？」「アゲヒバリとは誰ぞや？」ってことね、百聞は一見にんとやら。あれが、アゲ・ヒバリよ。見たまえ。

アゲ・ヒバリを見たであろう同級生、硬直。

T そこには、石膏像があった。いや、美少年の石膏像。いや、石膏像のような美少年。

N どう？感想ちょうだい。「美しい」。美しい以外の言葉で感想ちょうだい。

T 美しい。

N 何を聞いてたの、同級生。美しい以外の言葉で感想ちょうだい。

T 美しい。

N 他に言うことはないの。美しい以外の言葉は無いの。

T 美しい。

N 国語教育の限界ね。国語教育の限界ね。読む・書く・聞く・話すといった日本語の最低限の機能性のみを重視した我が国のクソみてえな国語教育で育ったウチらには、アゲ・ヒバリの美貌やら容姿やらを豊かな表現で皆様に伝えることなんざ不可能よ。ごめん。

T 仕方ないだろ、だって小学三年生。美しい以外の言葉で、あれをどう表現すればいい。

自らのボキャブラリーの無さを嘆き悲しむ小学三年生。

【04】恵比寿のしがないシガーバー。

N でも今は時は流れて平成30年。私もあなたも39歳。アラフォー。古き良き時代を思い返す恵比寿のしがないシガーバー。改めて、美しい以外の言葉で感想ちょうだい。

T あいつは…美しかった。

N 三つ子の魂、百まで。

T あいつの美しさは異常だった。忘れられないのは10月。秋風吹きすさぶ駅前のバスロータリー。

バスロータリーの風景が立ち上がる。

T 大声を張り上げ募金をお願いする俺たち。「赤い羽根お願いします。赤い羽根募金、お願いします」。非情にも通り過ぎて行く大人たちの足を止めたのがアゲ・ヒバリ。やつは募金箱を持って、ただ立っているのみ。声を出すどころか笑いもしない、その美少年の募金箱に大人たちは群がった。募金、募金の長蛇の列。いや、なんなら、一緒に募金していた俺たちまでヒバリについて募金する始末。敗戦直後から続いている赤い羽根募金活動は俺たち青少年に福祉や寄付の大切さを教えるのが目的だったが、俺は強く「負け」を実感した。やっぱりやつは美しい。そして、怖かった。

場面は再び恵比寿のしがないシガーバーに。

N ホワイイ？

T 美しいものは、人を傷つけるのを知っていたからだ。僕の母は美しかった。あまりにも美しく、周囲の人間をほとんど不幸に…。

N あれ？ねえ、あそこに座ってる人、芸能人じゃない？

同級生ユキミは別の話をする。まったく女って生き物は。

T おい、俺の話を聞くのが嫌いか。

N そうよ、私は人の身の上の話を聞くのが何よりも嫌いな女。演劇の登場人物としてはあまりにも使い勝手が悪い存在。

T めんどくせえな。

N ちよっと、久々に再会する同級生に向かって、あんまりな扱いじゃない。

T めんどくせえんだもん。

N 呼び出したのはあんたでしょ。

T 日にちを決めたのはお前だろ。
N 時間を決めたのはあんたでしょ。
T 場所を決めたのはお前だろ。
N 恵比寿のしがないシガーバー。
T しかし、残念ながら、俺にはこの女しか、ヒバリについて腹をわって話せる者はいなかった。
N ギムレットには早過ぎる。

レイモンド・チャンドラーの台詞を決める女。

【05】美少年の棲家

K Ⅱ「父親」、O Ⅱ「担任教師」。
担任教師の終わらない大演説。

O このクラスはひばりちゃんへの愛情でまとまっている。皆がひばりちゃんを大切にしている。その共通目的で、ひとつとなっている。ですからね、お父さん。ひばりちゃんを守ることは、即ちクラスを守ること。私は担任として非常に合理的なプロセスを踏んでいるのです。ひばりちゃんに何かあったらクラスは崩壊しますよ。
K 脅しているんですか？
O 脅されているのは私です。あなたはあの子の父親だ。生殺与奪生殺与奪の権利をもつ。お願いです、お父さん。ひばりちゃんを守ってください。ひばりちゃんに何かあったら、私は生きていきません。

【06】確認。

芝居は一旦、中断する。

N ホサキ、ここまで上演時間は何分だ？
T 7分です。
N おい、この芝居あと53分もあんのかよ。たまんねえな。
T どうぞ、肩の力を抜いてご覧下さい。

そして再びK Ⅱ「父親」、O Ⅱ「担任教師」を演じる。

K ところで、遠足はうまく行きましたか。

○ 武蔵野動物公園。いやー、遠足は大変結構でした。クラスのガキ共は動物に夢中、僕は思う存分、ヒバリちゃんに集中出来ました。

K ヒバリを見ていてくれたんですね。ありがとうございます。

○ うるせえぞ、低所得。なんですか、あのお弁当は。食品添加物と化学調味料にまみれた3本98円の魚肉ソーセージ。あんなものをヒバリちゃんに食べさせるなんて、虐待ですよ。ヒバリちゃん、君は美しい。貧困と消費経済の歴史が生んだ魚肉ソーセージなんかは君の体を奪われてたまるか。僕はお弁当作ってきましたよ。あーん。

T おかしながらも平和だった学校生活が脅かされたのは、二学期の終業式が終わった日だった。

【07】美少年の棲家。

K Ⅱ「父親」、O Ⅱ「担任教師」のままドラマは続く。

K お待ちしておりました、先生。

○ お待たせしておりません、先生。ひばりちゃんが、いつもと違う下校ルートを使いました。私最近毎日いつも、下校時間のチャイムが鳴れば、ひばりちゃんの後をつけているんですよ。どこに行くのか、誰と会うのか、もちろんトイレは覗きませんよ。それじゃまるで変態だ。終業式も無事に終わり、どうか楽しい冬休みを。そう送り出すふりをして、こっそりつけたらまあ、びっくり。テクテク知らない道をいく。それもひとりで。

K どこにいったんです。

○ 申し訳ない。見失いました。しかしあの足取りは、確実に何かの目的があるはず。心当たりは。

K ありません。

○ 死ね。

T その日、ヒバリは帰って来なかった。

○ よーし、今すぐに探しましょう。警察なんかあてになりません。警察はひばりちゃんをわかっている。一目見たら一目惚れ。国家権力を利用して、取り調べとかなんとかいって、ひばりちゃんに悪戯するに決まっている。警察なんて野蠻人、合法的に暴力を行なうゴリラ。ひばりちゃんに指一本、触れさせるわけにはいきません。

T 昭和63年の年末だ。天皇陛下のご容体は芳しくなく自肅ムードが漂っていたが、僕らの街は、もう天皇とかどうでもよかった。

【08】恵比寿のしがないシガーバー

T II 「同級生ハナブサ」、N II 「同級生ユキミ」。

N そんな30年前の話、よく覚えてるね。

T よく忘れてるな。

N 嫌なことは、忘れちゃうのよ。

T ユキミ。

N ユキミ？

T そんなお前に頼みがある。

N 女を下の名前で呼び捨てにする男は一切信用しない。

T フジタニ・ユキミさん。

N ハナブサ・イクオさん。

T 頼みがあります。

N うかがいましょう。

T 平成30年の今、ヒバリって、どこで、何してるんだ？

ユキミを演じていたナガシマは受話器を取り出す。

N 「ひばりちゃんは預かっている。用が済んだら帰す」

T 捜査が行方不明から誘拐に切り替わったのは、そんな電話が入ったからだ。

K II 「父親」、O II 「担任教師」は大混乱。

O 声に聞き覚えは。

K 全くありません。

O 犯人に心当たりは、

K ありすぎてわかりません。

O 逆探知

K 失敗。

O 死ね。

- K ヒバリのかわいい顔写真が出回って、ワイドショーは賑わった。警察とマスコミの報道協定やら報道規制やらはもうめちゃくちゃ。それくらいヒバリは可愛かったんだ。
- NOT 美少年「ひばりちゃん誘拐事件」
- K は、お茶の間を賑わせた。なんの進展もないまま、お待ちしてありました先生。
- O お待たせしておりません、先生。
- K 今日は1月7日。「七草がゆ」を食べましょう。
- O 「七草がゆ」どころかね、私はもう、何もノドを通らないんです。ヒバリちゃんは今頃一体どこで、何をしているんだろう。
- K いやー、天皇陛下が亡くなりましたね。
- O 天皇陛下なんてどうでもいい。昭和も平成も関係無い。私の頭の中はね、ヒバリちゃんでいっぱいなんですよ。チャイムだ。
- K 気のせいですよ。先生。
- O いや、今たしかに、チャイムが鳴りました。
- K 鳴っていませんよ、先生。
- O ヒバリちゃんが、帰ってきたのでは。
- K そんなわけないでしょう。落ち着いて。
- O ヒバリちゃん。

担任教師が扉を開ける。

- T 玄関の外にいたのは、アゲ・ヒバリ本人だった。
- K 昭和64年1月7日。ヒバリはひとりで自宅に帰って来た。
- この二週間、どこで、誰と、何をしていたのか。本人は一切、語らなかった。容疑者の特定にも至らず、ひばりちゃん誘拐事件は昭和最後の未解決事件として幕を閉じた。
- O と、というのが一般的なウィキペディア。実際は違う。
- K どう違うんですか？
- O 帰って来たのは、ヒバリちゃんじゃない。

父親は我が子を抱きしめる。しかし担任教師は、

- K おかえり、ヒバリ。
- O 何を言っているんです、お父さん。この子は、ヒバリちゃんではありません。あれはおそらく、警察が用意した替え玉。昭和には児童の誘

拐殺人事件が数多く起きた。そのほとんどが警察の失態により、むごたらしい終わり方を迎えた。注目度の高い「ひばりちゃん誘拐事件」。警察は昭和最後のこの事件を、被疑者不明の未解決ながらも一応、被害者の生存ということで一応、めでたしにしたいのだと思います。では、ヒバリはいったいどこに？

O わかりません。だから私はこの奇妙な事件をもう一度調べようと思います。とにかくあの日、ヒバリちゃんはミミガハラのバス停に向かったんだ。

ミミガハラのバス停に向かって駆け出す担任教師。

【09】恵比寿のしがないシガーバー

T II 「同級生ハナブサ」、N II 「同級生ユキミ」。

N 結局、教師を辞めたんだっけ、あの人？

T 教師を辞めたかどうかは、わからないが、昭和の終わりと同時に、先生は学校に来なくなった。学校にはアゲ・ヒバリの偽物。ニセ・ヒバリがいた。

N いや、偽物じゃないでしょ。本人でしょ。

T もちろん、本人だと思うが、たしかに先生の言う通り、以前と何が違った。

N あの日、あの時、昭和の終わり、アゲ・ヒバリに何があったのやら。

T 何があったのか、には実はまったく興味が無い。俺が知りたいのは今のこと。

N 平成30年。

T お前なら知ってるだろ、ヒバリが今どこでなにしてるか？

N 知らないわよ。

T 電話、メール、ライン、ミクシィ、本人と連絡が取れやしない。知らないわよ。

T そんなわけない。クラスのマドンナのお前はアイドルのヒバリを恨んでいた。俺たちがヒバリに注目しなくなってからも、ずっとアイツをロックオンしてた筈だ。

N やっぱりあの人達、芸能人じゃない？ドラマで見たことある。

同級生ユキミは別の話をする。まったく女って生き物は。

T 俺の話を聞くのが嫌いか。

N そうよ、私は人の身の上の話を聞くのが、以下略。あんたこそ、彼の居場所を知ってどうするのよ。

T 同窓会を開く。

N 同窓会？

T 昭和の終わりに出会った僕ら、平成の終わりにどうしても、同窓会を開きたいんだ。何故なら僕は同窓会長。お前らがくたばるその日まで、その行く末を見守る義務がある。いつでも、お前らを小学三年生に呼び戻す権利がある。さあ、始めよう。同窓会。

N 気持ち悪いー。同窓会長ってなんでこんなに気持ち悪いの？気持ち悪いやつが同窓会長になるってキマリでもあるの？誰が行くか。

T じゃあ、せめて、ヒバリの居場所だけでも教えてくれ。

N 知らないって言うてるでしょう。

T よく見るとお前、キレイだな。

N ここに行きなさい。

T やっぱり知ってたんじゃねえか。

N 嘘は、女を美しくする。

俳優ナガシマとタナカ、声を揃えて叫ぶ。

N T そう、美少年の獲得に失敗し我々は、すでに美少年を演じることを完全に放棄し、美少年の同級生と同級生を演じながら、この物語を遠巻きに遠回りに演じながら、予定されている上演時間60分が過ぎ去ることをただ、ただ、ただただただ、待ち続けるのだった。

ここまで上演時間は14分。すごいぞ。

【10】確認

N 美少年いなくても、なんとかなってるな。

T 美少年いなくても、なんとかかなりますね。

O 美少年いなくても、いいですね。どうですか、お客さん。

カトウ、客席から登場する。

K ちょっといいかしら、ちょっといいかしら。魚屋さんには魚があって、ケーキ屋さんにはケーキがあって、お化け屋敷にはお化けはいない、

が、お化けに会うような恐怖体験、そんなサーヴィスご提供。それが顧客との信頼関係。ウィン・ウィン・ウィン・ウィン・ウィン。それに引き換え、どうなってます？ ここは、あなたは、どうなってます？

N そう。美少年の獲得に失敗した我々は、すでに美少年を演じることを完全に放棄し、美少年の同級生と同級生を演じながら…。

K うるさいうるさい。私がわざわざ美少年を見に下北沢まで来てるのよ、千葉の西船橋から。看板に偽りあり、文言に空言あり。もうそうだったら、怒ります私。私だけじゃない、みんなが怒る。さ、今ここで、宣言してください。

N 宣言？ 今ここで？

K 今後「美少年」は出てきます。今ここで、宣言してください。

N 美少年…？

K 美少年です。

N はい、えーと。せーの「美少年は出てきます」。

K 肩の荷がおりました。胸のつかえが取れました。今度再び会う時は、互いに笑顔でいたいものです。

消える、カトウ。すぐに舞台上に帰ってくる。

K 怖かったー。なんですか、今の！。

N 誰だよ。

K 世間の声が具現化した、まがまがしい存在です。

N まがまがましい。

K やっぱ美少年が出ないと納得しないですわ。

N やっぱ美少年が出ないと納得しないか。

K それが世間の声でした。切なる世間の声でした。そんな切なる世間の声が、無駄な登場人物を舞台に乱入させた。

N さりとて俺たち四人だけ。ナガシマ、オオムラ、カトウにタナカ。美しくねえわ、少年じゃねえわ。ご要望にはお応え出来かねる。

俳優4名は、声を揃えて叫ぶのだ。

全員 そう、美少年の獲得に失敗し我々は、すでに美少年を演じることを完全に放棄し、かつ美少年の不在を批難されないように、この物語をさらにさらに、遠巻きに遠回りに演じながら、予定されている上演時間60分が過ぎ去ることをただ、ただ、ただただただ、待ち続けるのだった。

【11】貧乏美大生

○ 〓 「貧乏美大生」。魂の独白。

○ 金を使いたくねえんなら、その分アタマを使うんだ。いいか。女とヤリたい、酒飲みたい、一体おいくらハウマツチ？ワタミに行つて、飲み放題。三千、三千、六千円。ラブホに行つて、ヤリ放題。御休憩で、ゴーキュッパ。しめて、ワンナイトでワン万円と二千元のお会計。これがすっかりゼロ万円。もとい、プラス万円に転じる錬金術。

さあ、聞かせてくれ。

○ まず飲み代は女に持たせる。後で払うぜ三千円。そしたらラブホに行かないで、あそこでもいいじゃん駐車場。チュウ、シャツとやっちゃう、ジョー。二十分くらいでエクスタシー。するとだよ。本来かかるはずだった、一万二千円がまるでタダ。それを二十分でやってのけるから、六十分の時給換算じゃ三万六千円。一日八時間労働の日当換算じゃ二十八万八千円。すごいぜ、ラブホに行かないで、駐車場をやっちゃえば、二十八万八千円のポロ儲け。

【12】貧乏美大生の実家。

N 〓 「パパ親父」、T 〓 「弁護士ヤギヌマ」。

N 二十八万八千円の、罰金だ。

○ 罰金？

N 初犯だから略式裁判の罰金刑。それでも公然わいせつ罪の限度額ギリギリだぞ。俺の月給の半分じゃねえか、バカ息子。

○ パパ親父。

N 弁護士費用も入れたら五十万は行くぞ。

○ 情状酌量はないんですか？

T 他人様の駐車場でセックスしてるような野郎に情状酌量もクソもねーだろーが。

N 代弁サンキュー弁護士ちゃん。

T 弁護士ちゃんと呼ばないでください、ヤギヌマです。

N お、嬉しい知らせだ、オメーがパコった女から手紙。

- ラブレターかな？
- T 準強姦罪の民事訴訟。
- 告訴、ビギン・ナウ。
- N なんとか謝って許してもらえ。
- ラブホ代ケチったような男が許してもらえますか、父上様。
- N それでも謝れ。誠意を見せろ。

【13】 神奈川県美術大学のサークル棟。

T II 「美大の先輩」となる。

- そんなこんながありました。
- T どんなこんながあったんだ。
- 卒業制作、間に合いません。留年決定。
- T 謝りやなんとかなるもんだ。指導教員はどちらさま。
- 天才、巨匠、ジャノメ・テイ。
- T ジャジャジャジャ、ジャノメ・テイ。マジか。
- 美のカリスマ、情熱大陸。しかし、僕にはあまりにももったいない…。せっかくあんな方に指導していただけるのに、僕にはそもそも、アトに関する興味がゼロだ。
- T 卒制…適当でも通るかもな。
- まさか。天才、巨匠、ジャノメ・テイですよ。厳しいに決まってるじゃないですか。
- T そりゃ芸術的な指導は恐ろしく厳しいよ。ただ、それも、指導してくれたらの話だ。
- どういうこと？
- T 行方不明なんだよ。

【14】 美大の正門前。

K II 「マスコミ男」。

- T 行方不明ってどういふことですか？
- K それはこっちが聞いている。何か知らない？変わった様子とか。
- T いや、そもそもめっちゃめっちゃ変人なんで、何をもって変わった様子というべきか。
- K めっちゃめっちゃ変人、ジャノメ・テイ。なるほど。

T 自宅にもいないんですか？
K というか自宅がわからない。アトリエと称してあちこちに、空き屋をポンポン買っていった。噂によるとその数、ひゃく。どこにいるやら、何してるやら、カイモク見当がつかなくて。
T え、それじゃあ、どうして？行方不明だってわかったんですか？
K 「新作展を中止しろ。さもなければ、ジャノメ・テイを殺す」青山オクタゴンギャラリーにそんな電話があったとか、なかったとか。

【15】青山オクタゴンギャラリー。

O II 「代表ノザワ」、N II 「学芸員」。

O 脅迫だよね。
N 悪戯です。
O 脅迫されたよ、だって今。
N 悪戯なんです、だからそれ。
O 中止にしようよ。
N 中止はダメです。
O だって中止にしなければなら、ジャノメさん殺すってだから悪戯ですよ。ジャノメさん本人に連絡とりましょう。
O ケータイなんか持ってないよ、あの人。
N じゃあ、どうやって連絡とるんですか。
O 私に聞くな。いつもなんか、いるんだもん。
N そう言えば最近、観てませんね。
O とにかく、ジャノメ・テイの新作展は中止だ。
N オープニングセレモニーには副都知事も来るんですよ。
O ザッツ、ビップ。それでも中止だ。

【16】記者会見。

K II 「マスコミ男」

K ジャノメ・テイ先生の新作展「美少年」が中止となりました。作品はすべて搬入済みとのことでしたが、どうして中止となったのでしょうか？
O 青山オクタゴンギャラリー代表のノザワです。後日、文書で改めて発表します。

- K 行方不明なんですか。
O 行方不明です。あ、うっかりおもらし。
K 誘拐されたんですか？
O 誘拐されました。あ、うっかりおもらし。
K 殺されたんですか？
O 殺されています。まだ。
K まだ？

【17】貧乏美大生の実家。

O II 「貧乏美大生」

- O うー。ジャノメ先生は僕の尊敬する方なんです。その先生が誘拐された悲しさで、つついっ青姦、野外性交をやっちゃった。ということで、情状酌量いかがでしょう？

T II 「弁護士ヤギヌマ」

- T 時系列としては矛盾してますね。
O そこをゴリ押せ、弁護士ちゃん。
T 弁護士ちゃんと呼ばないでください。ヤギヌマです。
O 外ハネボブも可愛いよ。
T 外ハネボブは可愛いんです。とにかく、告訴を取り下げてもらおうように、こちら準備しましょう。もう一度、詳しい状況をお聞かせください。
O もう一回聞きたいの？欲しがるね。欲しがるガール、欲しガール。まずチュウをして、ケツもみながら、押し倒し…。
T 性交渉ではなく、通報された時の状況です。第一発見者は？

【18】明け方、横浜市反町のコインパーキング。

駐車場の隅でセックスをしている貧乏美大生と女（K）。

N II 「同級生ユキミ」が現れる。

- N ガキ共ー。駐車場でセックスしてんじゃねーぞ。始発動いてんだろーが。とっとと帰れ。ラブホ行け。いや行くなよ。いま説教中だ。まずは私の怒りをしずめたまえ。その前にゴムをとれい。苦しゅうない、そのゴム

をとれい。おい、その辺に捨てんな、母なる大地、来たときよりも美しく。パンツもはけい。女子にはテッシュをくれてやる。男子はそのへんの雑草でふけい。そして、かぶれる。そして、かぶれる。あんたら…神美（じんび）だろ、神美。神奈川美術大学の学生だろ。見りやわかるんだよ。ほのかに香るシンナー。ハイブリーチで脱色した頭。ハタチ過ぎてからのニキビ。志低き眼差し。そんなやつはなあ、貧乏美大生しか考えられねーんだよ。ウー（サイレン）。おお、警察来たわ。覚悟しとけ。

T II 「弁護士ヤギヌマ」、O II 「貧乏美大生」。

- T この人は誰なんですか？
- O 通りすがりのヘンなおばさん。
- T この人が通報したんですよね。
- O 警察が来る前にどっか行っちゃいました。
- T 見覚えは？
- O 見覚えなんかねーよ。あ、いや待てよ。あれは、たしか、バイト先の「ンゴニで…」。

【19】深夜のコンビニ。

N II 「同級生ユキミ」、K II 「バイトの先輩」。

- N おいそのビタミン不足。
- K うえい。
- N 粘着テープと結束バンドは置いてねーのか？
- K こちらになりませう。Sisooですね。じゃあ、こちらタッチお願いします。ありがとうございます。

ユキミは立ち去る。品出しをしていたO II 「貧乏美大生」。

- O やばい。今の女、やばい。
- K なにが？
- O 粘着テープと結束バンド、粘着テープと結束バンド。絶対ヤバイ奴ですって。
- K 大丈夫だよ。こないだもき、西小のジャージ着た女子がコンドーム3箱レジに持って来たけど、余裕で売ったし、問題なし。

- タドコロ先輩マジ日本語通じねえー。
- K 暇だからおでんに鼻クソ入れよ。
- ぜってークビにしてやる。
- K うえい。
- パシャ（写真を撮った！）。いやそんなことはどうでもいい。コメントとはわけが違う。粘着テープに結束バンドですよ。

【20】貧乏美大生の実家。

- っっていう、ヤバイ女です。弁護士ちゃん。やばい。あいつ、何かの犯人かも。

T II 「弁護士ヤギヌマ」。

- T はっきり言って、そいつが何者だろうが、今回の野外セックスの件とは無関係です。
- ちえっ。
- T ただ、捕まえて聞いてもらいましょう。知り合いに、平成に珍しいタイプの熱血刑事がいます。
- 知り合いて言って、ほんとは彼氏なんじゃないの。
- T 残念、本当はセフレです。
- うっひょー（？）
- T 弁護士だって性欲はあるんです。
- うっひょー。ほんのり意外な角度からのエロい話放り込んでくれるなんてありがてーな！。

【21】道玄坂のラブホテル。

T II 「弁護士ヤギヌマ」、K II 「熱血刑事」。

激しくセックスをしている。情事が終わった後で。

- T あの女、調べてよ。
- K できねえよ。調べられねえよ。
- T 顔認証とかではぱっと犯人捕まえられるんじゃないの。
- K 刑事ドラマの見過ぎだぜ。
- T 奥さんにバラすよ。いろいろと。
- K 顔認証とかではぱっと犯人捕まえます。

【22】黄金町の路上。

N II 「同級生ユキミ」。

K フジタニ・ユキミだな。

N え？

K 先日は、野外セックスの通報ありがとうございました。

N いいえー、市民として当然のことをしたまです。

K ところで…どうしてその後、現場を立ち去ったのですか？あとコンビニで粘着テープと結束バンドを購入しましたよね。その使い道は？

N 黙秘します。

K 平成に珍しいタイプの熱血刑事。（ユキミをぶん殴る）

N 往年の松田優作を彷彿とさせる…なんだよ、なんだよ、クソ。美大生に関わるとろくなことがない。美大生に関わるとろくなことがない。

K おい、犯罪者。なにやらかしたんだ、白状しろ。

N 白状する前に、おまわりさん。あんたも白状して。あたし、キレイ？

K 口裂け女か？平成だぞ。平成も終わるんだぞ。

N いいから答えて。わたしキレイ。

K キレイじゃねえよ。ババアだよ。

N キレイって言うてくれたら全部話す。

K キレイだよ。

【23】道玄坂のラブホテル。

T II 「弁護士ヤギヌマ」。

K 誘拐、拉致、監禁しているそうです。

T 誘拐、拉致、監禁。どこのどちらさまを。

K 天才、巨匠、ジャノメ・テイ。

T ジャノメ・テイ。知ってる。神奈川美術大学の教授じゃん。

【23】確認。

ここで一度、舞台上で水を飲むことが許される。

酸素マスクの使用も可能だ。

- N ホサキ、ここまで上演時間は何分だ。
T 22分です。
N まだ三分の一しか進んで無えのかよ、たまんねえな。
T どうぞ、肩の力を抜いてご覧下さい。

実際の上演ではここまで21分以内が望ましい。
そして舞台は「神奈川美術大学」へ。

- O 内部調査なんてやるもんじゃない。
T 知ったが最後、対策を講じなければならぬ。
K 学生からの匿名のリークはどうやら本物。その暗室の中には、女学生たちの裸の写真であふれかえっていた。
N おい、エッチな話か？
K 神奈川美術大学の写真学科では教授による芸術的指導と称した学生へのわいせつ行為が続いていた。
N エッチな話じゃないか。

T II 「写真科オサナイ」となる。

- T アート、アート、アートと称して、女学生をホテルや野原に誘い込み、わいせつな行為をほたらいて写真を撮るわけだ、パシャ。写真科の教授、オサナイです、パシャ。
O 美大生って馬鹿だから。教授だって馬鹿だから、馬鹿が馬鹿をバカパカやってパシャパシャやっちゃったわけだ。
N これは間違いなくレイプ。しかし、故に、これはまさしくアートである。
O K T はい？

N II 「彫刻家ジャノメ・テイ」となる。

- N 相手の肉体と精神を奪い去る行為、さらにフォトグラフというメディアでその刹那を切り取る行為。アートです。まさにアートです。
K キチガイがいます。
O 誰だ。

K II 「彫刻家モロボシ」となる。

- K ジャノメくん、私の熊本工業美術大学時代の教え子だ。

○ 彫刻科のモロボシ先生。
K 彫刻科の非常勤講師のジャノメ・テイ。

若き彫刻家、ジャノメ・テイの演説。

N 本学の写真学科で行なわれた一連の行為、つまり写真を学びに全国からやって来た女学生を犯して写真に収めた写真におさめたオサナイ教授の行為、これは純粹無垢なアートであるとともに、既存のアカデミズムの意義を問い直す革命であると私は強く感じました。

K キチガイがいます。

N しかし、写真学科のオサナイ先生。一点だけ、疑問があります。レイプしたのが何故、女学生だけだったのですか。写真学科の男子学生も犯すべきです。乱れていますよコンセプト。そこにアートはあるのかい？芸術とは略奪と心得たまえ。さあ、今すぐに写真学科の全男子学生の肛門に先生のゴミみてえな陰茎をぶち込むべきです。そしてそれをすぐにパシヤリ。そうすればオサナイ・ヨウジロウ、あなたのアートは完成し、その名声は三千世界を駆け巡る。

写真家のオサナイ教授、男子学生を犯し始める。

N 我が恩師、モロボシ先生。中学時代に二科展に入賞したことから神童と謳われながらも、その後さしたる業績を残していない堕ちたエリート、モロボシ・ススム。あなたも彫刻家のはしくれなら、アーティストと名乗るなら、日がな一日、粘土なんぞこねこねしないで、もっと違うものをこねこねしなさい。

彫刻家のモロボシ教授、自分の股間をこねこねし始める。

N オサナイ先生から性的被害を受けたと言ってるブス美大生ども。

OKTII 「女子大生」となる。

K なによ。

N あなたはレイプされたのではない。

K どういうことよ。

N あなたの肉体という物理的物質と学生という社会的社会性が、オサナイヨウジロウのアートとなったのだ。

K んー、聞けば聞くほどそうだと思えてくるから不思議ー。

不思議である。まことに摩訶不思議。

K 性的被害を受けて訴えた美大生たちは、ジャンメ・テイの話に納得し、頭を下げ、溜飲を下げ、告訴を取り下げた。

○ 〓 「学長」となる。

○ ジャンメ・テイを助教授にします。

K T まじですか？

○ だって、いつの間にかその芸術活動が世界的な評価を得てるじゃないか。

T 世界ってどこ？

○ イスラエルとか？パタゴニアとか？

T ざっくりハイタッチ。

○ とにかく助教授にします。

K 今では空前絶後の人気アーティスト。テレビラジオでひっぱりだこ。アエラの表紙。紅白の審査員。神奈川文化芸術評議員も務めています。

T ジャンメ・テイのゼミ始まるよー。希望者は面接来たれー。

【24】ジャンメ・テイのゼミ。

N 〓 「ジャンメ」、OKT 〓 「学生」。

N 君たちは、この私のゼミで、何を学びたい。

○ メソッド。

K パッション。

T テクニク。

N そこにアートはあるのかい？

OKT え、んー、あ、えー。

N 失格。

OKT くうー。

○ ジャンメ・テイのゼミの希望者は他学科からも殺到し200人にもものぼったが、厳しい面接をへて残ったのは13人。13人の変態。もといアーティスト。

N やってきました動物園。
K 明確に場転した。

明確に場面して、ここは「武蔵野動物公園」。

N 作品を作りたまえ。

OKT はい。

N そのモチーフを、題材を、この動物園の中の動物から選ぶのだ。

OKT はい。

N 時間は2時間

OKT 2時間。

N 探せー。

OKT わー、2時間後。

N 君たちのクリエイティビティを刺激した動物はなんだ？

O キリン。

T ライオン。

K フラミンゴ。

N そこにアートはあるのかい？

OKT え、んー、あ、えー。

N 失格。

OKT くうー。

T II 「ゼミ生オオヌキ」が前に出る。

T 女の子がいました。

N 女の子？

T カバのオリの前に、人間の女の子がいました。

N オオヌキ。

ジャンメはオオヌキを殴る。

それは興奮するオオヌキを冷静にさせる愛の鉄拳。

N ……続ける。

T その女の子はカバに向かってこんにちはと、こんにちはと元気に挨拶。するとカバは、その子に尻を向け、その無垢な顔面に糞尿をまき散らしたのです。顔面から糞尿を浴びた女の子は、笑ったのです。母親は悲鳴を上げていましたが、その女の子は、こんにちはという挨拶に対する力

バの意外なる返礼に、糞尿まみれの顔面で、ケラケラと笑い転げたのです。そしてカバは、糞尿をまき散らしたカバは、満足そうに寝たのです。

N そこにアートはあるのかい？

T 挨拶と排泄でつながる人と獣のコミュニケーション。その本質を探ること現代社会における他者依存の関係を抉り出し…

N もういいオオヌキ…。(抱きしめる)君のアートを言葉なんぞに閉じ込めるな。大学に戻ってよし。作品を作れ。

T 先生。ありがとうございます。

N 他の者はもう2時間。探せ、本当のアート。

OK はい。

学生たちは「アート」と叫びながら、動物園を練り歩く。

N Ⅱ「飼育員」がやってくる。

N あの、神奈川美術大学の人ですか。園内では静かにしてもらっていますか？

K そういうあなたはどちらさま？

N この動物園の飼育員です。

K 飼育員？動物を飼育しているようで、その実、自分自身が労働と賃金という資本主義経済の狭間で飼育されている、哀れなエコノミックアニマル…アート、見つけたり。

T みたいな感じで、ゼミの学生たちは教室に戻り、作品を作った。

【25】神奈川美術大学アトリエ

OKT Ⅱ「学生たち」。N Ⅱ「ジャノメ」が帰って来た。

N ただいまアート。

OKT おかえりアーティスト。

O 遅かったですね。

N 君たちにただ課題を与えるというのは、アーティスト同士の関係としては不健全だ。私も私の課題に挑んだ。動物園でモチーフを探した。

OKT おおー。

探すこと約半日、ついに見つけた。

OKT おおー。

N このジャノメ・テイが作品にする価値のあるモチーフ、見つけた。

- K T おおー。
T お聞かせください。
○ 動物園で見つけたモチーフとは？
K ごくり。

ジャノメが緊張の面持ちで、口を開く。

N 美少年。

絶望のあまり、腰を抜かす学生たち。

- 美少年…？なんだそりゃ。
T くだらない。
○ 低俗だ。
T 矮小だ。
○ そこにアートはあるのかい？
T 答える。
○ ジャノメ。そこにアートはあるのかい？
K 待て。

K Ⅱ「ゼミ生シノノメ」となる。

- T ゼミの代表、四回生のシノノメ・カズナリは、お気に入り銘柄マル
ボー口を、呑んだ。
K 天才、巨匠、ジャノメ・テイ。あなたを魂の師と仰ぐ、我ら変態13
名。先生が選ばれたモチーフが、美少年とは納得出来ません。
N もちろん、ただの美少年ではない。
K もちろんです。あなた様を選んだものが、ただの美少年であってなる
ものか。どうんな？ どう？ どう？ どう？ どうんな美少年だったん
だ？
N シノノメ…私のアートを言葉なんぞに閉じ込めるな（殴る）
K レオナルド…ダヴィンチ…（気絶）
N 無論、作品にしてやるさ、美少年。
T ぜ、是非、見せて下さい先生。
N やめておけ。（殴る）
T サルバドール…ダリ…（気絶）

N この私でさえ、腕の震えが止まらない。君のようなジョナサンでバイトしている学生風情が見たら、命の保証は無い。

O それでも見せてください。見せてください。

N 落ち着け（殴る）

O オノ：ヨーク…。（気絶）

N ……30年。

OKT 30年？

N 30年後、君たちが一人前のアーティストになったら、見せてやろう。K なってみせます。三十年後、一人前のアーティストに、なってみせます。

【26】30年後の変態たち。

NOKT II 「変態13名」となる。

N なったねー。アーティストに、なったねー。

O そだねー。

N 変態13名、それぞれの方向性でアーティストになったねー。

N 芸術、半端ないって。ところで、30年経ったということは、ジャノメ先生の言っていた「美少年」の作品、見せてもらえるんじゃないか？おや、こんなところにインビテーション、招待状が…ジャノメ・テイ新作展「美少年」。ととのった。今すぐ行こう、青山オクタゴンギャラリー。タクシー。

O II 「代表ノザワ」となる。

NKT あれ？やってない？

O 青山オクタゴンギャラリー代表のノザワです。ジャノメ・テイ先生の新作展は、急きょ中止となりました。

K 新作展は、どうして中止に？

O 脅迫の電話があったんです。

N 「新作展を中止しろ。さもなければ、ジャノメ・テイを殺す」

【27】取調室。

K II 「熱血刑事」、N II 「同級生ユキミ」。

K お前がやったのかフジタニ・ユキミ。
N 私ひとりでやったのよ。
K うそつけ。お前ひとりで、やれるわけない。共犯者は誰だ。
N あたし、キレイ？
K キレイじゃねえよ、ババアだよ。
N キレイって言ってくれた全部話す。
K キレイだよ。
N 共犯者は、アゲ・ヒバリ。
K アゲ・ヒバリって？ヒバリちゃん誘拐事件の被害者。

【28】美少年の棲家。

O II 「担任教師」、K II 「父親」。

O そんなわけない。だってヒバリちゃんはまだ家には帰っていないはず。
チャイムだ。
K 気のせいですよ。先生。
O いや、今たしかに、チャイムが鳴りました。
K 鳴っていませんよ、先生。
O ヒバリちゃんが、帰ってきたのでは。
K そんなわけないでしょう。落ち着いて。
O ヒバリちゃん。

担任教師は扉を開ける。

【29】美少年の帰還。

そこにいたのはT II 「同級生ハナブサ」。

O …誰だ。お前？
T 先生？テシガワラ・テルオ先生じゃないですか？
O 先生？たしかに私は先生です。誰かの親御さんですか？
T ハナブサ・イクオですよ。30年前、先生のクラスメイトだった。

○ 何を言ってるんです？僕は新任教員です。30年前なら生まれていません。

T 何を言ってるんです？というか、どうしてこんなところに。

○ どうしてって？行方不明のヒバリちゃんが心配で心配で、お父さんと一緒に、ご自宅で犯人からの電話を待っている、昭和64年1月7日。

T お父さんですって。

○ お父さんです？

担任教師が指差した方向には父親。

T なにやっつてんだお前。

K 七草がゆを食べている。今日は1月7日だからね。

T 今日は平成30年、12月のうんうん日だ。何やってんだよ。
アゲ・ヒバリ。

父親だと思われていたのは、アゲ・ヒバリ本人だった。

K 遠足の行く先は武蔵野動物公園。

この語りから時間と空間が昭和63年への移動する。

【30】動物園とバス停と天上界

K II 「美少年アゲ・ヒバリ」である。

K 遠足の行く先は武蔵野動物公園。出発前からバスの中では誰が俺の隣に座るのか、動物園では誰が俺と廻るのか、クラスメイトたちはモメだした。その日は、腕力にものを言わせた男子と、大声で泣きわめいた女子が俺の側にいる権利を勝ち得た。さあ、行こう。この美少年・アゲ・ヒバリとの、夢のアドベンチャー。

美少年のまわりから人がいなくなる。

K 動物園の門が開かれると、子供たちは一目散に駆け出した。…嘘だ。俺の手を握る者は誰もいなかった。おいおい。ヒバリちゃんだよ。ひばりちゃんの右手も左手も、いまなら誰でも握り放題。しかし、もう、誰も俺の方を振り返る者はいなかった。なんだこれは、現実か。

○Ⅱ「担任教師」が背後より現れる。

○ お弁当を作ってきましたよ、あーん。

K 俺は、動物園内をさまよった。：クラスメイトだけじゃない。よその大人も、飼育委員も、動物たちも鳥たちも、エリマキトカゲ。誰も俺を見ていない。アゲ・ヒバリがここにいるぞ。俺を求めろ。俺を求めろ。

その叫びは、誰にも届かない。

K 動物園だけじゃない、今日と同じことが水族館でも遊園地でも起こりうる。所詮俺は、冷たい学び舎に押し込められたガキ共の欲望と羨望のはけ口なのだ。と失望した。さびれた地域社会に閉じ込められた大人たちの希望と願望の生け贄なのだ。と絶望した。

NOT ワールド・イズ・ノット・マイン。

美少年はひとりぼっちとなる。

K どうしたら俺の美しさが、時間と空間を超えることができるのだ。動物園の中では、誰も誰ひとり俺を見てくれなかった。

そこにNⅡ「ジャノメ」の声が聞こえる。

N いや、思い出せ。

K たしか一人、俺を見つめていた人間がいた。

N 思い出せ。

K 猛獣、珍獣であふれ帰る動物園で、たった一人、老人のような、少年のような男が、じつとこちらを見つめていた。ああ、あの男…あの男だけは僕の美しさをわかってくれたのか。

見つめあう美少年と芸術家。

K 俺は親父に頼んで次の日曜にも武蔵野動物公園に行った。もう動物なんて、見ていない。どこだどこだどこだ。どこにいる。あの男はどこにいる。園内を走り回ったが、いるわけがない。畜生、ポカリを飲み過ぎた、

下痢だ。男子トイレの個室に入り、勢い良く用を足した。すると天井から俺を見つめる男。

排便する美少年。天井から芸術家。

K あなたは、あの時の…
N 待っていたよ、美少年。君ならまたきつと、ここに来ると信じていた。
K 何者だ。
N ジャノメ・テイ。芸術家だ。
K アゲ・ヒバリ。美少年だ。
N 君は美しい。
K 僕は美しい。
N その美しさを君だけのものにするな。
K それには一体どうしたら。
N 神話になれ。ガニユメデウス。不老不死の酒ネクターを神々に捧げる美少年。トロイアの王子から羊飼いに身を落とした人間だったが、その美貌に目を付けたゼウスが大鷲となって天上界にさらっていったのだ。妻ヘラの嫉妬をおそれたゼウスはガニユメデウスを星に変え、水瓶座として大空に残した。ガニユメデウス。このゼウスが君をさらってやろう。
K お願いします、今すぐに、美しい僕をさらってください。
N 焦るな。おちつけ、ケツを吹け。
K カラカラカラカラカラカラ、キュッ。

美少年がケツを吹く間に、天井から降りて来たジャノメ。

N 遠足の時は学帽と校章があったからまだよかったが、今の君はなんだ。私服に身を包んだ小学生なんて何の価値もない。いいか、ガニユメデウスの真の価値は羊飼いの姿にある。君はランドセルを背負うべきなんだ。終業式はいつだ。
K 12月のうんうん日です。
N その日、学校が終わったらミミガハラのバス停に来たまえ。必ずランドセルを背負うんだ。

K 終業式。俺はランドセルを背負い、教室を飛び出した。背後から熱視線。担任教師のストーキング。俺は無様に全力ダッシュ、ミミガハラのバス停にたどり着いた。

N よく来てくれた美少年。

K ゼウス。僕をさらってください。

N ランドセルをおろすな。ゼウスから、ランドセルを奪うという快感を奪うな。

芸術家は美少年から無理矢理ランドセルを奪う。

K ランドセルを奪い取り、僕を捕まえて、ゼウスは天上界へと僕を誘ってくれた。

バスに乗り込む二人。

N 揺れる保土ヶ谷中央バス。沿線には僕のアトリエがいつももあるんだ。どこでおりたっていい、ガニユメデウス、君の恐怖と不安がピークに達したら、そこが天上界だ。

K 恐怖と不安がピークに達した。いやこれ何分走ってる？家に帰れるのか？

N はい、1111。

美少年はアトリエに監禁される。

K 扉には鍵。窓には目張り。結束バンドと延着テープで体の自由を奪われた。

N さあ、ガニユメデウス、このゼウスに、ネクタールを捧げよ。

K 俺は全知全能の神・ゼウスに不老不死の酒・ネクタールを捧げた。

N その正体は、ネクター。

K こんな日々がいつまで続くんだろうか。

N さあ、帰りましたまえ。

K もう終わり？

N 何を言ってる、もう二週間。すでに年は明けて昭和64年1月7日。ありがとう、ガニユメデウス。君の姿は星となり、永遠となった。見たまえ。

そして美少年は、見てしまったのだ。

K そこには、美少年がいた。いや、美少年の石膏像。いや、俺の石膏像。どうだ、賛美しろ。「美しい」美しい以外の言葉でこれを賛美しろ。

K 美しい。

N 何を聞いていた、小学生。美しい以外の言葉でこれを賛美しろ。

K 美しい。

N 他に言うことはないのか。美しい以外の言葉は無いのか。

K 美しい。

N 国語教育の限界ではない。国語教育の限界ではない。美しい以外の言葉許さない、極めて純粋な美しさがそこにあった。君の美しさは、君だけのものではなくなった。肉体を超えて、時空を超え、永遠のものとなったのだ。

消える芸術家。解放される美少年。

【31】美少年の棲家。

K 誘拐されたのは俺じゃない、俺の美しさだ。それは石膏像となり、二度と俺のものではなくなった。それに気がついたのは、家に帰ってか
らだった。先生。

O 〓 「担任教師」が現れる。

O ヒバリちゃんをどこへやった。

K 何を言ってるんです、先生。僕ですよ、アゲ・ヒバリですよ。

O あなたは…ヒバリちゃんではありません。

K 何を言ってるんです、先生。僕ですよ、アゲ・ヒバリですよ。

O ヒバリちゃんは、どこにいったんだー。

K 俺の美しさはゼウスのアトリエ、いまだ石膏像の中。先生は気が狂った。完全に気が狂った。ずっと昭和63年のまま、誘拐されたまま二度と戻って来ない俺の美しさを探し続けた。それから30年。

かつての美少年は39歳。狂った担任教師にすがりつく。

K お待ちしておりました先生。お待ちしておりました先生。今日も昭和の話を
お聞かせください。不出来な父親を罵りながら、アゲ・ヒバリの美しさ、思う存分、語ってください。

【32】しかし今は平成。

かつての同級生は冷淡に事実を告げる。

T 今日は平成30年、12月のうんうん日だ。なにやってんだよ。
アゲ・ヒバリ。

K II 「ヒバリ」、T II 「ハナブサ」、O II 「担任教師」。

K 今の俺はヒバリ・パパ。
T なにがヒバリ・パパだ。
O 誰かの親御さんですか？
T ハナブサ・イクオですよ。30年前、先生のクラスメイトだった。
O 何を言ってるんです？ 私は新任教員です。30年前なら生まれていません…。

担任教師はふらふらと徘徊を始める。

T ようやく見つけたよ。この家を。君と先生との、昭和の監獄。
K 誰から聞いた。

T フジタニ・ユキミ。

K あのブスめ…余計なことを。出て行け。ブサイク転校生。お前に立ち
入る資格はない。

T そうはいかねえんだ。なぜなら俺は同窓会長。お前らがくたばるその
日まで、その行く末を見守る義務がある。いつでも、お前らを小学三
年生に呼び戻す権利がある。なあ、ヒバリ。俺がどうして同窓会長に
立候補したかわかるか。小学校三年生の時点ですでに自分の将来に絶
望していたからだ。そうだよ、お察しのとおり、俺の親は生まれも職
業もついうっかり差別用語になっちまうようなやべえやつだ。ただし、
クラスは40人。俺以外の39人のうちひとりでも、立派な大人にな
っていてくれたら、ああ、俺は、あんな立派な野郎と同級生だったな
あと胸を張れると思ったからだ。結果はどうだ。きちい。

農林水産省に入省したマツバヤシは収賄罪で逮捕されて牢屋の中。消
防隊員になったナガミネは女子高生と淫行して退職して今は糖尿病。
自衛隊員になったムラモトは女房にモラハラ。検事になったコグレは
ナチュラルにハゲ。そしてなあ、看護師になったのJALのパイロッ
トと結婚したイマイズミは、ツムツムで知り合った男子大学生と不倫。
しかし、お前だよ、アゲヒバリ。こいつあまったく驚いた。天使か王
子かジャニーズか。沢田研二の再来か。その美貌で学校はおるか町内

K 会を賑わせた、かつての美少年のツラがこれか。進化は即ち退化に似たり。成長とはまっこと老化に同じ。時の流れは、はなはだ無残。散り損ね、枝に残りし山桜、腐り果てれば、さらす生き恥。挙げ句の果てが狂った恩師と昭和のさまよい。集まろうぜ、同級生。集まって傷を舐め合おう。

K ちよっと待て。

ヒバリはハナブサの胸ぐらを掴み。

K お前はまだ、大切なことを話してないぞ。お前はどうかんだ。ドカタの息子。お前は今、何をやっている。自分の将来に絶望し、仲間の今に絶望したお前は今、何をやっているのか聞かせろ。

T 俺は…芸術家だ。

ヒバリは笑う。

K おいおい、聞いたかよ。芸術家だよ。給食費どころか絵の具を買う金もねーもんだから図画工作の時間にヤクラス中から絵の具を借りた野郎だぞ。ああ、でも、白はだめだ。白は貸せない。白い絵の具は貴重なんだ。人気のない緑、紫、黄土色。そんな絵の具ばっか使うから、お前の絵は運動会も遠足もいつでもどろどろウンコ色。

ハナブサは語り出す。

T その黄金町のセクシーキャバクラでは1本300円のスパークリングチリワインのラベルを張り替え偽造してドンペリと称し目玉が飛び出るほどの値段で提供されていた。客の誰もがその不正に気がついていたら文句を言う者は誰もいなかった。何故ならば支払いをするのは自分ではなく自分の所属する企業や団体だったからだ。

【33】黄金町のセクシーキャバクラ。

O Ⅱ「版画家サヤマ」、N Ⅱ「同級生ユキミ」。

O 領収書をください、宛名は神奈川文化芸術評議会。
N 皆さん芸術家さんですか？じゃあ、この支払いは？
O 完全なる、税金です。神奈川最高。じゃあ、先生方、帰りましょう。

N II 「ジャノメ」である。

N 待ってください、日本版画界の重鎮、サヤマ・コウメイ先生。まだ議論は終わっていない。

O こんなションベン臭いセクキャバでなんの議論ですか？分かりました。あと10分あげましょう。その間私はこいつのパンツをガン見してます。つまり、人類初の芸術は、文学か音楽かと言うことです。しかし、私はそこに、彫刻、つまりは造形の可能性を主張したい。彫刻こそ、芸術のおこり。

T くだらない議論です。

T II 「同級生ハナブサ」、いや、
「芸術家ハナブサ」と呼ぶべきだ。

T 初めてなどどうでもいい。問題は、最後に残る芸術は何かという事です。芸術の初めが彫刻ならば、物、音、色があふれるこの時代に、すでにその役割は終わっている。

N だったら、どうして君は、彫刻をやっている。

O 彼は彫刻家ではないんです。ハナブサ・イクオ。画家です。私の後輩です。緑と紫と黄土色の絵の具しか使わないので、こいつの絵画はいつもどろどろウンコ色。

T お金が無いんです。

N その生き様、貧しさのあまり黄色と青の絵の具しか買えなかったと伝えられるヴァンセント・ヴァン・ゴッホのごとし。極める、ウンコ。ジャノメ・テイだ。

ジャノメとハナブサ、握手。

そのままNは「同級生ユキミ」に。

N あんた、ハナブサ・イクオじゃん。私フジタニ・ユキミ。三十年ぶりの再会じゃーん。

T 最悪だ。なんでお前がいるんだよ。

N ラッキーだね。

T ラッキーじゃねえよ。お前、39だろ。

N やめてよ、この店じゃアタシ、25ってことになってんだから。

T なんて同級生のパンチラ見なきゃいけないんだよ。30超えてからのパンチラはなあ、もうエロいを通り越して悲しいんだよ。39にもなってパンツ見せることでしか男の目をひけないお前の人生が悲しいんだよ。

N だったらアンタは何なのよ、人様の金で、税金で、酒飲んで女のパンツ見て、情けないとは思わないの。

T 情けないに決まっているが、これでも芸術家だ。

N あ、アフター呼ばれてる。土建屋の社長に呼ばれてる。

T 今度改めて飲もう。

N 恵比寿のしがないシガーバー。

T いやいよ青山オクタゴンギャラリーでの単独個展がある。絶対に来てくれよな。

【34】青山での個展。

K Ⅱ「ヒバリ」、T Ⅱ「同級生ハナブサ」。

K 誰が行くか。

T 絶対に来いよ。あんな場所で個展ができるなんて、選ばれた人間だけなんだぞ。

そこに現れたO Ⅱ「代表ノザワ」。

O 個展は延期してもらいたい。

T ええ。ノザワさん。ちょっと待ってください。どうして。

O まだ発表前だ。いいだろう。

T 理由をお聞かせください。

O 理由というのはな、大物が差し込んで来た。

T であー、大物。アート業界の力関係。誰ですか？

O ジャノメ・テイ。

K ジャノメ・テイ…。

反応するヒバリ。忘れもしない、その名前。

N 平成最後にどうしても新作展をやりたいんだ。タイトルは「美少年」。

K 美少年…。

ヒバリは新作展のタイトルから、すべてを察した。

O 仲直りの食事をセッティングします。麻布でフレンチ。

【35】麻布の高級フレンチレストラン。

N II 「ジャノメ」、T II 「ハナブサ」。

テーブルの横にK II 「料理長マエカワ」

K ジャノメ先生。前菜の味はいかがでしたでしょうか？

N 最悪だ。味覚というものがあるのを今日ほど恨んだ日は無い。

マエカワくん、君は鬼怒川温泉で足湯を楽しんでるババア共を片っ端から犯しなさい。それか浅草寺で人力車を引いている低学歴どもに片っ端から犯されなさい。それくらいの意識改革をしなければ、フレンチのフの字にもたどり着けない

N ありがとうございます。ジャノメ先生のお言葉は今日もありがたいなあ…タトウーにしよう。

料理長はタトウーを掘りに夜の町へと飛び出した。
後に残る芸術家ふたり。

T そんなことより、どうしてこの時期に、わざわざ僕の個展を潰してまで？

N 場所はどこでもよかった。時期の問題だ。どうしてもやる必要があった。

T 平成30年。

N 彼らとの約束だ。

T 彼ら…？

N ハナブサクくん。私は謝らないよ。君か僕か、最終的に選んだのはギャラリーだ。

T 恨んではいません。ギャラリーとしても当然の判断です。ただ、お願いがあります。

N 何だね？

T あなたに会いたいと言っている人がいます。僕の古い友人で、名前をアゲ・ヒバリ。

舞台上に現れたヒバリ、ジャノメをぶん殴る。

【36】美少年の監獄。

K Ⅱ「ヒバリ」、N Ⅱ「ジャノメ」。

N 前歯が折れた。口の中は血の味でいっぱい。さっき食べたメカジキのポ
ワレも台無しだ。私は食べ損ねたメイン、桃のソルベと子羊の蒸し煮が
気になった。マエカワシエフからも自信作だと言われていたのに…何を
するんだ、ガニユメデウス。

ヒバリはジャノメを蹴る。するとNは「同級生ユキミ」に。

N ちよつと、なんなの、このじいさん。

K 俺を誘拐した犯人だよ。

N いや、あんたが誘拐してるんじゃない。

K 俺の美しさを誘拐した犯人だよ。

N わけがわかんない。

K おいユキミ。

N ユキミ??

K そのコンビで粘着テープと結束バンド買ってこい。

N 女を下の名前で呼び捨てにする男は一切信用しない。

K そのコンビで粘着テープと結束バンド買ってこい。

【37】深夜のコンビニ。

N Ⅱ「同級生ユキミ」、K Ⅱ「バイト先の先輩」

N おいそのビタミン不足。

K うえい。

N 粘着テープと結束バンドは置いてねーのか？

K こちらになりませう。Suicaですわ。じゃあ、こちらタッチお願いしますま
す。ありがとうございます。

【38】美少年の監獄。

K Ⅱ「ヒバリ」、N Ⅱ「同級生ユキミ」。

N おまたー。
K こいつの新作が発表されたら、テシガワラ先生にかかった昭和の魔法がとけてしまう。
N 結局、あんたはいつもそう。あんたが興味があるのは、かつての自分の美しさ。ただそれだけ。
K いいから協力しろ。
N くー、惚れた女の弱みね。うそ、惚れてなんかいない。私が欲しいのはあんたのDNA。私は美少年のママになりたかっただけ。
K 用が済んだらもう帰れ。
N 帰れと言われたらすぐ帰る。それが都合のいい女。そのかわり、警察にバレたらすぐに白状するからね。平成に珍しいタイプの熱血刑事に殴られたら、すぐに白状するからね。

ヒバリはユキミをぶん殴る。すると場面が変化。

【38】黄金町の路上。

K Ⅱ「熱血刑事」、N Ⅱ「同級生ユキミ」。

N 往年の松田優作を彷彿とさせる…なんだよ、クソ。美大生に関わるとろくなことがない。美大生に関わるとろくなことがない。
K おい、犯罪者。なにやらかしたんだ、白状しろ。
N 白状する前に、おまわりさん。あんたも白状して。あたし、キレイ？
K 口裂け女か？平成だぞ。平成も終わるんだぞ。
N いいから答えて。わたしキレイ。
K キレイじゃねえよ。ババアだよ。
N キレイって言ってくれたら全部話す。
K キレイだよ。

【39】道玄坂のラブホテル。

K Ⅱ「熱血刑事」、T Ⅱ「弁護士ヤギヌマ」。

K 誘拐、拉致、監禁しているそうです。
T 誘拐、拉致、監禁。どこのどちらさまを。

K 天才、巨匠、ジャノメ・テイ。ジャノメ・テイ。
T ジャノメ・テイ。知ってる。神奈川美術大学の教授じゃん。

【40】美少年の監獄。

K II 「ヒバリ」、N II 「ジャノメ」。

K ゼウス。新作展「美少年」で、僕の姿を発表するわけですね。どうして今になって。そんなことを。

N 時効が成立したからだ。

K 時効だと。

N 君の誘拐事件の時効だよ。あの作品を発表したら、誘拐犯は私だと世間に知れる。逮捕されるなど実につまん。アートじゃない。

K 時効だと。時効ならとつくに成立してる。時効成立に30年もかかるのは凶悪犯罪だけだ。

N 君の美しさを奪った私の罪、昭和最大の凶悪犯罪。

K くうー。とにかく発表するのは止めてくれ。平成になった今だって先生は俺の美しさの奴隷。先生の中で俺の美しさは永遠なんだ。妄想は加速。美化のうわめり、輪島塗。

N 伝統工芸などくたばれ。

K あの石膏像を先生に見せてはいけないんだ。

N 美術大学は存在意義から経営方針、何から何まで嫌いだだったが、ひとつだけ素晴らしいことがあった。美しいものを求める美しき師弟愛。私をここに拘束しても、アートは止められないよ。

【41】青山オクタゴンギャラリーの外で。

NOKT II 「変態13名」。

O 誘拐されたのは先生ではなく先生のアート。

T 先生のアートを救わなければ。

O 殺されると脅迫されて、中止にする。それってアートかな。

T アートじゃないね。

N 先生だったら、こう言うでしょう。たとえ自分の命が尽きても、アートの扉は閉ざすなど。

K 行くぞ、変態13名。芸術とは略奪と心得よ。

T 一体どこから取り出した。かつてのゼミ生13名は、ハンドドリルを両手に構え、青山オクタゴンギャラリーの壁に穴を開けた。

変態アーティストがギャラリーに穴を開け始める。

N ギャラリーに13の穴が空けられた。さながら「二十四の瞳」。

壺井栄先生の名作タイトルになぞらえた見事な情景。

N …あ、でも13人が両手で開けたと考えると…13かける2で…ちょっと計算が合わないけど、ニュアンスだけ伝われ。

大丈夫だ。観客にニュアンスだけは伝わった。

N その穴から覗き込む。

変態13名が、穴から中を覗く。

T そこにあったのは見事な美少年。

O 美少年の石膏像。

O T 美少年からランドセルを奪い取る老人の石膏像。

K なるほど…これが先生のアート。中止された美術展。ギャラリーに風穴を空けることこそ、アート。先生と我ら変態13名で30年越しに完成させたアート。ありがとう先生。ありがとう先生にまた学ばせてもらった、いや、学ばせていただいた…

N II 「ジャノメ」は変態13名に囲まれる幻想に狂う。

ヒバリの鉄拳により、目を醒す。

【42】美少年の牢獄。

K II 「ヒバリ」、N II 「ジャノメ」。

N 失神すべきかもしれない。すべての知覚機能が停止すれば、さっきの様に醜い悲鳴をあげることもない。ラルディーニのジャケットをヨダレで汚すこともない。多少の失禁は止むを得ないとしても、必要以上の醜

態は不本意だ。私はただ、美しくありたい。この完璧な絶望を美しく受け止め続けたいのだ。

ヒバリは、ジャノメの首を締め始める。

N 汚い手で触るな…ガニユメデウス。お前は所詮、羊飼い。そこにアートはあるのかい？

T II 「同級生ハナブサ」が駆け込んでくる。

T アゲ・ヒバリ。

K 止めるな、ブサイク転校生。

T 描いてやるよ、お前の今を。同級生としてのせめてもの情け。さよなら、俺の美少年。俺は、絵の具の緑と紫と黄土色を引き裂いた。

ハナブサは絵の具をぶちまける。世界がウンコ色となる。

【43】 図画工作の時間。

O II 「担任教師」が、ハナブサのそばにやってくる。

O ハナブサ・イクオくん。絵の具はどうしました？絵の具が無いんですか？金が無くて買えないんですね？さすがドカタの息子。よし、先生の絵の具を使いなさい。

T 絵の具なんざ、いらねーよ。

O じゃあ、友達から借りなさい。

T 白は、ダメだ。白は貸せない。人気の無い緑・紫・黄土色。そんな絵の具ばっか使うから、俺の絵は運動会も遠足もいつでもどろどろウンコ色。

ハナブサはウンコ色の絵の具で世界を描き続ける。

T そんな俺の苦しい状況を哀れんでくれたんだろう。市内展でも県民展でも俺の絵は必ず入賞していた。同級生からはウンコウンコと馬鹿にされたが、必ず入賞していた。学校長の気まぐれで、俺の絵は小田原

現代美術館の公募展に応募されグランプリを受賞。そこから、俺のキヤリアは始まった。

【44】青山オクタゴンギャラリー。

○Ⅱ「代表」がやってくる。

T 青山オクタゴンギャラリーのノザワさん。新作ができました。
○ 一体どんな。

T 「ゼウスを殺すガニユメデウス」

○ わけのわからんモチーフですが…どうせウンコ色でしょう。
T ウンコ色です。十三人の変態が風穴を空けたジャノメ・テイの新作展。平成とともにそれが終わったら、こいつを発表させてもらいます。あいつも必ず、見に来ると思います。アゲ・ヒバリ。見に来いよ。

KⅡ「ヒバリ」。しっかりとハナブサを見つめて一言。

K 誰が行くか。

【45】美少年の牢獄。

KⅡ「熱血刑事」と部下たちが銃を構えて突入する。

K 警察だ。平成に珍しいタイプの熱血刑事だ。

ジャノメ・テイの死体を発見する。

K ジャノメ・テイ…死んでるじゃねえか…。

NⅡ「同級生ユキミ」、ケツをふりながら登場。

N やったのはきつと、アゲ・ヒバリ。

K 本人はどこにいる？

N 知らないわよ。

K よく見るとお前、キレイだな。

N キレイと言われたって、知らないものは知らない。

K 寝めて損した。

N 刑事さん、私が初めてアゲ・ヒバリと一夜を共にしたのは、実は中2の夏。あの日はむせ返るような暑さで…

K おい、犯罪者。お前のエピソードは、時間の都合で、
N 割愛か…。

人の話を聞かない奴に、自分の話を語る資格はない。

ヒバリとユキミの関係は結局、なんだったのか。上演時間
間の都合で割愛された。そもそも誰も興味はなかるう

【46】青山オクタゴンギャラリ―。

行列である。

O II 「貧乏美大生」が横にいる女に話しかける。

O すごいねー。すごい行列。60分待ちだったさ。君、どつかの美大生。見たら分かるよ。ほのかに香るシンナー、ハイブリーチで脱色した頭、ハタチ過ぎてからのニキビ、志低き眼差し。美大生だよねー。実は僕も美大生。神美。神奈川美術大学。そう、ジャノメ・テイ先生の生徒。卒業制作の指導も受けてたんだ。まあ、先生が亡くなって、担当変わったやつだったけど。60分後。

本人が言うからには60分後なのである。

O さあ、一緒に見よう。ジャノメ・テイ先生の新作にして完全遺作「美少年」。

貧乏美大生は、穴から覗き込む。

O うーん、わからん。僕にはそもそも、アートに関する興味がゼロだ。ちよつとワタミに飲みに行かない。お金はあとで払うから。チューシャツジョー。

立ち去る貧乏美大生。

その穴を覗きに、いろいろな人がやってくる。

その列に並んでいる男(K)が語り出す。

K アトリエに残された手記と、新作展「美少年」で発表された石膏像から、ジャノメ・テイが美少年ひばりちゃん誘拐事件の犯人だということがわかった。わかった時には遅過ぎた。ジャノメ・テイを殺したであろう、ひばりちゃんはいまだ逃走中。

その列に並んでいる男（N）が語り出す。

N 安っぽい武蔵野動物公演をさまよう君は、あまりにも無様だった。己の美しさよりも、鳥や獣やエリマキトカゲに夢中になっている同級生たちに戸惑っていた。ただの美少年ではない。己の美しさに溺れる、あまりにも醜い美少年だった。そのおぞましい精神は、やがて君の美しさを根こそぎ滅ぼしてしまうだろう。時間がない。早く、あの少年を、天上界へさらい、永遠の物としなければ…。

列に並んでいる男たちをなぎ倒し、やってくるOⅡ「担任教師」。穴を覗き込み…。

O ひばりちゃん、そんなところにいたんですか。後ろにいるおじさんは誰ですか。知らない人について行っちゃいけませんよ。ひばりちゃん、ひばりちゃん。

ギャラリーの係員に連行されていく。

O ひばりちゃん、ひばりちゃん。

男（K）が語りかける。

K 先生。僕ですよ、アゲ・ヒバリですよ。

それは、ヒバリだった。逃走中でありながら、自分の石膏像を見に来たのだった。しかし、

O お父さん。なんですか、あのお弁当は。食品添加物と化学調味料にまみれた3本98円の魚肉ソーセージ。あんなものをヒバリちゃんに食べさせるなんて、虐待ですよ。

担任教師は、係員に連行される。

K 先生にかかった昭和の魔法。それが解けることはなかった。

T キチガイ教師なんて、どうでもいい。お前はお前の今を見つめる必要がある。

【47】平成が終わった後の、青山オクタゴンギャラリー。

ここではハナブサ・イクオの単独個展が開催されている。

K II 「容疑者ヒバリ」、T II 「芸術家ハナブサ」。

T 俺が描いたウンコ色のお前の平成。見に来てくれると思ったよ。

K 誰が行くか。

T 見に来てくれると思ったよ。

K 誰が行くか。

T 見に来てくれると思ったよ。

「見に来てくれた」という芝居と「見に行かない」という

芝居が同空間に存在する矛盾。

やがてヒバリは「見に来た」という演劇を選択する。

K そこには、ウンコ色で描かれた俺とゼウス。

かつての美少年は、見てしまったのだ。

T どうだ？感想ちょうだい。「美しい」美しい以外の言葉で感想ちょうだい。

K 美しい。

T 何を聞いていた、同級生。美しい以外の言葉で感想ちょうだい。

K 美しい。

T 他に言うことはないのか。美しい以外の言葉は無いのか。

K 美しい。

T 国語教育の限界だな。（サイレン）ウー。警察だ。覚悟しとけよ。

とぼとぼと歩き出すヒバリ。

その背中に、同級生として一言。

T ……なんで来たんだよ。バーカ。
K ……

パトカーに乗せられる容疑者ヒバリ。
ハナブサによる、同窓会長としての総括。

T 結局、同級生で、まともな人生を歩んでるやつはいなかった。
きちい。

いや、そんな同級生の末路をウンコ色で描いてかね稼ぎ、貯金と納税
を楽しんでいる、俺がいちばんの俗物だ。

ミミガハラのバス停で二度と帰って来ることのない美少年を待ち続け
たテシガワラ先生は、アゲ・ヒバリの逮捕から数日後、二俣川付近で
凍死体となっているのが発見された。

【48】そもそも。

ナガシマ・ケイゾウが語り出す。

N そもそも始まりは2018年2月。本多劇場での本公演『俺を縛れ！』
の上演を終えた劇団「柿喰う客」は新メンバーオーディションを開催。
その時にすでに代表、ナカヤシキの頭の中には新作『美少年』の構想
が完成しており、主人公すなわち美少年をそのオーディションで見
するはずだった。しかしオーディション当日、私ナガシマ・ケイゾウ
は、愛娘の急な発熱により、欠席。若手筆頭、注目株のタナカ・ホサ
キがいちアシスタントとして参加していた。どうだったオーディショ
ン？

タナカ・ホサキが語り出す。

T たくさん来ました。

N ありがてー。

T ありがてー。

N 見つけた？美少年。

T 美少年？

N 美少年。だって新作、美少年だから。

T 美少年は、いなかったです。

N 美少年は、いなかったのかよ。
T そのかわり
N そのかわり？
T 美少年じゃなくて、「ブ少年」はいました。
N 「ブ少年」？

【49】

すべての俳優が舞台上にその姿を晒す。

N そう。美少年の獲得に失敗した我々は、すでに美少年を演じることを完全に放棄し、美少年の父親と担任教師を演じながら、美少年の同級生と同級生を演じながら、天才巨匠ジャノメ・テイとゼミ生変態13名を演じながら、貧乏美大生とパコった女とパパ親父と大学の先輩とバイト先の先輩と外はねボブの弁護士と平成には珍しいタイプ of 熱血刑事を演じながら、青山オクタゴンギャラリーの代表と麻布のフレンチレストランのシェフと神奈川美術大学の学長と彫刻科の教授と写真科の教授を演じながら、日本版画界の重鎮と武蔵野動物公園の飼育員と切なる世間の声が具現化した禍々しい存在と、恵比寿のしがないシガーバーにいた男たち、赤い羽根共同募金を呼びかける子供たち、性的被害を訴える女子大生たち、エリマキトカゲ。この物語を遠巻きに遠回りに演じながら、予定されている上演時間60分が過ぎ去ることをただ、ただ、ただ、ただただただ、ただ、ただ、ただただただ、ただ、ただ、ただただただ、待ち続けるのだった。

【50】確認。

N ホサキ、ここまでの上演時間は何分だ。
T だいたい、60分です。
N だいたい、60分でした。美少年、終わり。

もの見事に上演時間は60分。

美少年不在で語り続けた俳優4名。
軽快なポップチューンでカーテンコール。
ありがとう昭和。さよなら平成。

了

※上演を希望する際は、有料・無料に関わらず、
必ず劇団までご連絡いただき、戯曲使用の許諾をお受けください。